

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本7月鉱工業生産)

2018/8/31

りそなホールディングス 市場企画部

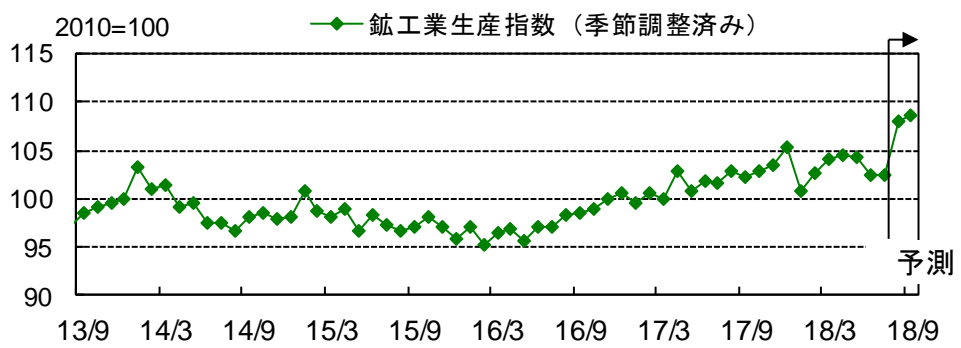


〇 概況

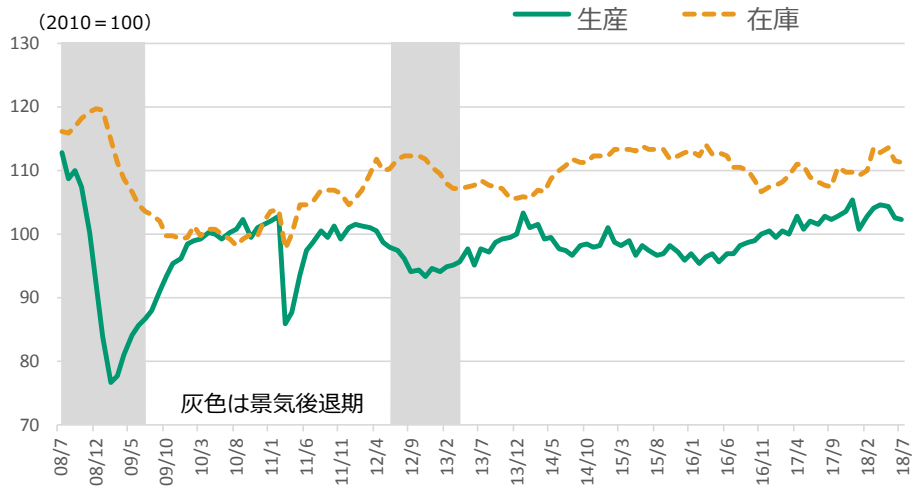
- ◆ 7月鉱工業生産、前月比▲0.1%と前月から低下
- ◆ 基調判断は「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」へ修正
- ◆ 生産予測調査によると、8月は前月比+5.6%、9月同+0.5%

- ✓ 7月の鉱工業生産は前月比▲0.1%と、前月から低下。出荷は▲1.9%と低下、在庫は▲0.2%と低下。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は+0.4%と上昇。輸送機械を中心に西日本豪雨から生産・出荷が伸び悩んだ影響が出たことも考えられる。
- ✓ 基調判断は前月の「緩やかな持ち直し」から「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」に下方修正。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中8業種が低下。鉄鋼業(▲5.0%)、輸送機械(▲4.2%)、非鉄金属(▲2.6%)などが低下。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中9業種が低下。輸送機械(▲7.8%)、情報通信機械(▲2.6%)、非鉄金属(▲2.5%)などが低下。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中8業種が低下。電気機械(▲9.1%)、輸送機械(▲3.9%)、パルプ・紙・紙加工品(▲2.1%)などが低下。
- ✓ 予測調査では8月+5.6%、9月+0.5%。ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は8月+1.2%に留まる。7-9月期の生産は現状では前四半期より下振れる可能性が高い。

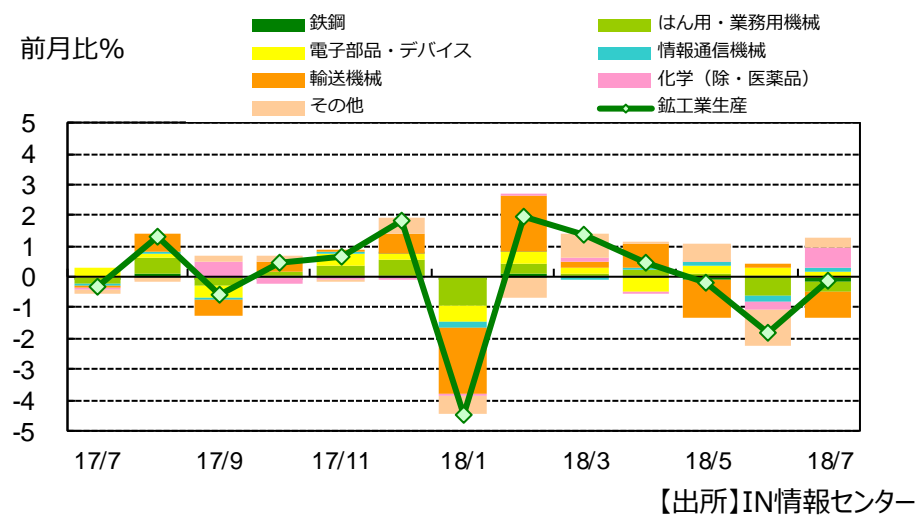
【鉱工業生産 (指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。